

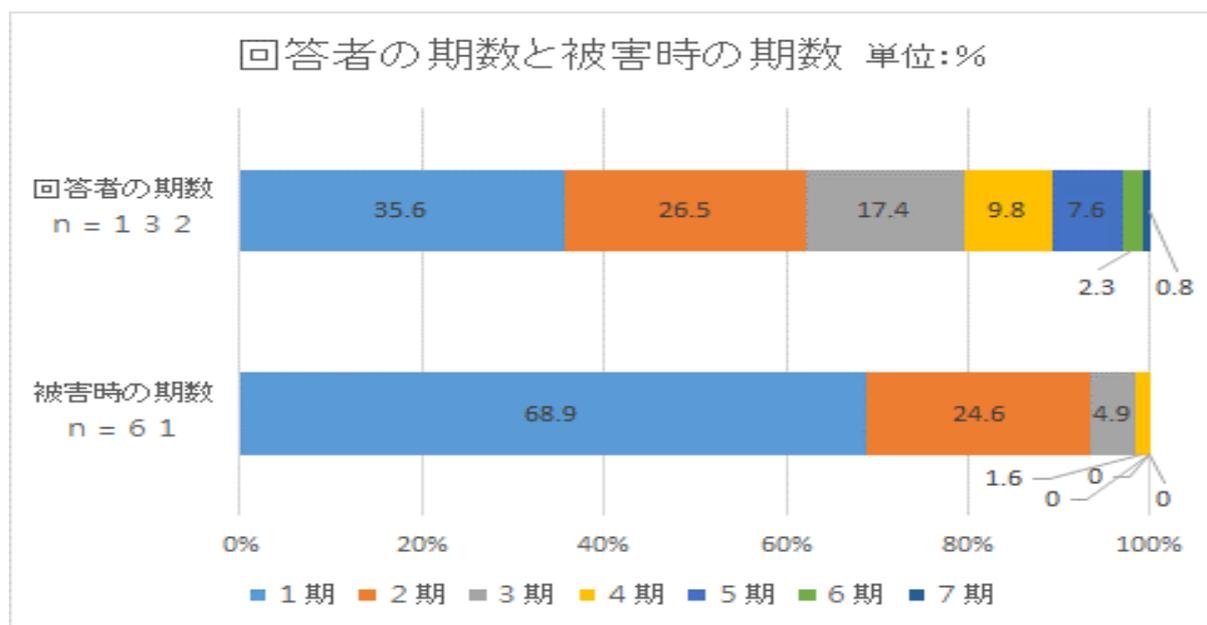
性差別体験アンケート結果 中間報告 (2014 年 8 月 30 日)

全国フェミニスト議員連盟アンケート分析班作成

回収数	134 通		メール	42 通		郵送	47 通		FAX	45 通	
属性 (期数判明者)	1 期	2 期	3 期	4 期	5 期	6 期	7 期				
132 人	47 人 (35.6%)	35 人 (26.5%)	23 人 (17.4%)	14 人 (9.8%)	10 人 (7.6%)	3 人 (2.3%)	3 人 (2.3%)				

1 本人の被害体験

被害あり(議員から)	64 人	被害あり(職員から)	17 人	なし	63 人(47%)
1 回から 5 回	49 人	6 回から 10 回	6 人	数えきれない	13 人
本会議場	12 人	委員会や他の会議	18 人	その他	54 人
被害時の期数	1 期 42 人	2 期 15 人	3 期 3 人	4 期 1 人	



■性差別的体験の類型化

- ① 性にもとづく嫌がらせや不快な言動
 身体接触/身体的特徴への言及/プライベートへの介入/見たくないものを見せられる環境型/性的な卑猥な発言/お酌の強要/性的対象とみる
- ② 女性への侮蔑的態度や発言
 見下し/威嚇/女のくせに/無視
- ③ 集団的セクハラ ④ 2重の侮蔑 ⑤ 性別役割分担の押し付け

2 他の女性への見聞き

ある	61 人	ない	68 人
----	------	----	------

1 回から 5 回	52 人	6 回から 10 回	3 人	数えきれない	5 人
-----------	------	------------	-----	--------	-----

本会議場	19 人	委員会や他の会議	12 人	その他	40 人
------	------	----------	------	-----	------

3 男性自身の被害体験見聞き

ある	21 人	ない	103 人
----	------	----	-------

1 回から 5 回	16 人	6 回から 10 回	2 人	数えきれない	3 人
-----------	------	------------	-----	--------	-----

男性から	15 人	女性から	4 人	両方	2 人
------	------	------	-----	----	-----

本会議場	19 人	委員会や他の会議	12 人	その他	40 人
------	------	----------	------	-----	------

4 差別的発言に対して、日常的に取り組んでいること

- ・その場で抗議（39）／議会で質問（15）／市民との協力その他（10）

5 性差別的仕組みや慣習

ある	46 人	ない	68 人
----	------	----	------

- ・役職等に男性優位（11）／女性役割の押し付け/物事の決定が酒席／お茶くみ（4）
制度がない(3)／パワハラ／懇親会にコンパニオンを呼ぶ（4）

6 必要なこと

議員に対する人権教育や研修を定期的に行う	63 人
議員の倫理綱領などに差別行為への懲罰規定を設ける	38 人
議会に倫理監視委員会のような苦情申し立て窓口を設ける	56 人
その他	

- ・女性議員をふやす（7）（そのうちクオータ制の導入1）
- ・女性管理職を増やす、審議会等の女性を増やす（4）
- ・議会における対応（19）

政治倫理条例の制定/議会基本条例に盛り込む/性差別 No.議会決議/議会改革

- ・意識改革の学習（10）

女性議員の意識改革も必要/個人の自覚を高める

- ・議会傍聴など市民によるチェック（4）

住民監視の強化/議会傍聴/マイクの精度を上げる

議会に、議員に対する産休・育休等の規定があるか？	ある	7 人
--------------------------	----	-----